現場説明書(技術的事項)

工事名 中津原浄水場中央管理センター外壁改修工事

1. 現場の状況

工事場所は中津原浄水場敷地内です。

工事期間中は、浄水場内すべての施設が稼働中です。

2. 工事内容

中央管理センターの外壁改修工事です。

3. 留意事項

- ① 工事施工上必要な官公署への手続きは、受注者の責任において速やかに行ってください。
- ② 工事期間中は、適切な安全対策を講じ、職員、施設維持管理業者及び第三者の安全確保に細心の注意を払ってください。
- ③ 契約後、実施工程表は14日以内に提出するとともに、施工計画書等の承諾は速やかに受けて ください。
- ④ 工事で既存工作物、機械等に損傷を与えないように対策を講じてください。
- ⑤ すべての施設は稼働中であり、施工時、警報の発報など管理運営に支障のないよう対応してく ださい。

4. その他

- ① 本工事施工場所は、稼働中の施設のため、浄水処理に支障を与えないように施工し、充分な施工管理(衛生面等)を行ってください。
- ② (定期の健康診断)
- 第1条 受注者は、工事及び業務に従事する全ての者を対象に、おおむね6か月ごとに、病原体がし 尿に排せつされる感染症(赤痢菌、腸チフス菌、パラチフス菌等をいう。以下同じ。)の患者(病原 体の保有者を含む。)の有無に関して、定期の健康診断を行うものとする。
- 2 受注者は、前項の規定により行った健康診断の結果を、速やかに発注者に報告するものとする。
- 3 前項の規定による報告は、当該健康診断の前6か月以内に受診した当該健康診断の内容に相す する健康診断の結果の報告をもって代えることができるものとする。
- 4 本市の浄水場施設へ新たに入場する者については、名簿を作成し、第1項の健康診断の内容に相当する健康診断の結果(新たに入場する日の前1か月以内に実施したものに限る。)を添付して発注者に提出するものとする。
- 5 本条の健康診断は、水道法第21条第1項及び同法施行規則第16条第1項に基づき行うものとし、 これに係る経費は全て受注者の負担とする。

(臨時の健康診断)

- 第2条 受注者は、工事及び業務に従事する者に、前条第1項中の感染症が発生した場合又は発生するおそれがある場合には、速やかに発注者にその事実を報告し、感染症が発生した又は発生のおそれのある浄水場施設で従事している者全員(本市職員及び受注者以外で工事又は業務に従事している全ての者を含む。)を対象に、臨時の健康診断を行うものとする。
- 2 受注者は、前項の規定により行った健康診断の結果を、速やかに発注者に報告するものとする。
- 3 前条第1項中にある感染症の患者は、本市の浄水場施設に入場することはできないものとする。
- 4 本条の健康診断は、水道法第21条第1項及び同法施行規則第16条第2項に基づき行うものとし、 これに係る経費は全て受注者の負担とする。

(定期の健康診断の免除)

第3条 前条の健康診断を行った月においては、第1条の健康診断を行うことは要しないものとする。

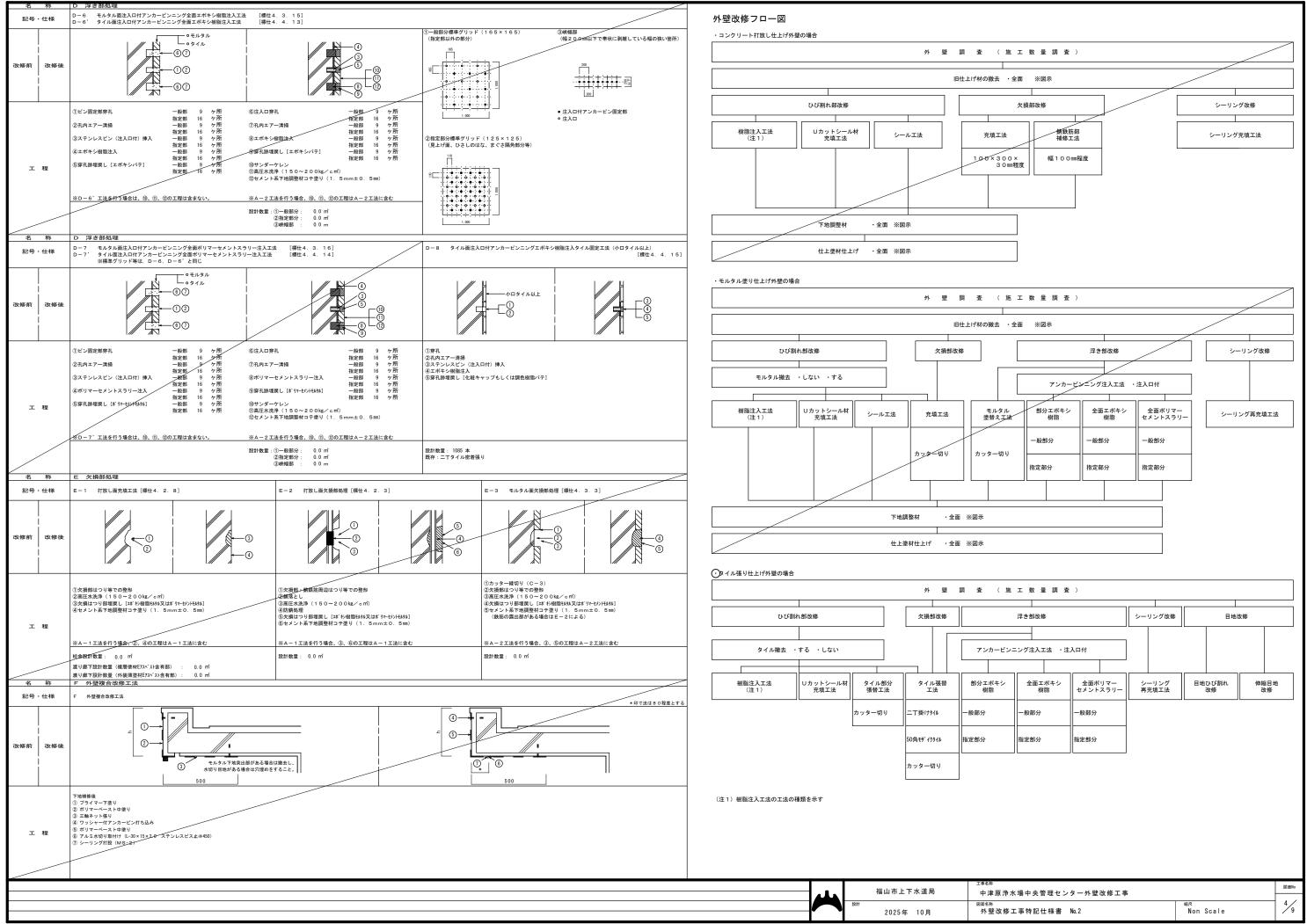
中津原浄水場中央管理センター外壁改修工事

| | 図面リスト | | | | | | |
|------|------------------|--|--|--|--|--|--|
| 図面番号 | 図名 | | | | | | |
| 1 | 図面リスト | | | | | | |
| 2 | 外壁改修工事特記仕様書1 - 1 | | | | | | |
| 3 | 外壁改修工事特記仕様書1 - 2 | | | | | | |
| 4 | 外壁改修工事特記仕様書 2 | | | | | | |
| 5 | 位置図 | | | | | | |
| 6 | 立面図 | | | | | | |
| 7 | 1 階平面図 | | | | | | |
| 8 | 2階平面図 | | | | | | |
| 9 | 3階平面図 | | | | | | |

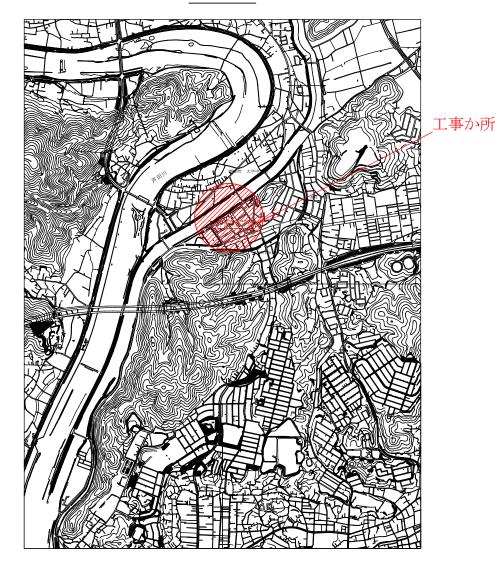
福山市上下水道局

| 1= | | | 章 | 項目 | 特 記 事 項 | 章 | 項目 | | 特 記 事 項 | 章 | 項目 | 特 記 事 項 |
|----------|------------------------------|--|---|------------------------|--|--|-------------------------------|---|--|----------------|---------------------------------|--|
| | | 壁 改 修 工 事 特 記 仕 様 書 | | | ○ 竣工図電子データ(竣工図電子データ作成要領による。) 一式 | | | | ーリング再充填工法 | | | 役物の使用箇所 |
| 1. II | 事概要 | 津原浄水場中央管理センター外壁改修工事 | | | ○ CADデータ(媒体(CD-R等)、データ形式等は監督員の指示による。) 1部 ・保全に関する資料 | | | ・ブリッシ | ジエ法 ブレーカー張り ・適用する ・適用しない | | | 内 装 出隅 天端 |
| 2. I | | 山市御幸町地内 | | | N-E-1-00 / 0.364.1 | | | | ング材張り ・適用する ・適用しない | | | 外 装 出隅、窓台、マグサ(標準一体成型品以外は接着成型品とする) |
| 3. 構 | 查規模 <u></u> | 2央管理センター:造 3階建(延べ面積 2430㎡) | | ① 別契約の関連 | 関連工事との調整 | | | | | | | タイルの試験張り ・ 行う ※ 行わない |
| 4. I3 | 事種目 タ | · 壁改修 | | 工事との調整等 [1.1.7] | ※ 別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。※ 別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行い、監督員の調整に協力し、 | | | | の種類、施工箇所 、改修標準仕様書 表3.7.1による。 | | | タイルの見本焼き ・ 行う ※ 行わない |
| 5. 別分 | 金工事 | îl | | [2. 2. 1] | 当該工事関係者とともに円滑な施工に努める。 | | | | E工箇所 シーリング材の種類 (記号) | 2 | ひび割れ部改修工法 | ※ タイルを撤去して改修(撤去後の補修はタイル部分張替え工法による) |
| | | こしての14日を含んでいる。 | | 1 | | | | 外壁及び外部 | | | [4. 1. 4] | ※ 樹脂注入工法・ リカットシール材充てん工法 |
| | 締結後14日以内に実施] 事は、法定外の労災保険 | | | 12 施工中の安全確保 [1.3.7] | 労働安全衛生法に基づく指名 本工事は、交通誘導員として 人を見込んでいる。 | | | | | | [4. 4. 2、5~7] | ・ タイルを撤去しないで改修 ※ 樹脂注入工法 |
| | 築工事仕様 | | | [1.0.7] | 交通誘導員の配置については、実施伝票(原本)および配置状況のわかる立会い写真の撮影を行い、 | | | シーリング材の | の目地寸法 (上表による) | | | ↑ 1570H/L/_/A |
| | ・通仕様(最新版) | | | | 監督員に提出する。 | (| ④ シーリング材の試験 | 接着性試験 | | 3 | 欠損部改修工法 | ・ タイル部分張替え工法(欠損部の面積が0. 25㎡ /箇所以下の場合及び下地モルタルがある場合 |
| | | 成されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営結部監修、公共建築改修工事標準仕様書(建築工 收修標準仕様書」という。)による。ただし、改修標準仕様書に規定されている項目以外は、国土交通省大 | | (3) 騒音・振動の防止 | 低騒音型・低振動型建設機械を使用し、環境対策に努める。 | | [3. 7. 8] | ※ 簡易接着 | f性試験 · 引張接着性試験 | | [4. 1. 4] [4. 5. 3、 5、 7、 8] | タイル張替え工法 (下地モルタルを撤去する場合) 既製調合モルタル (張り付け用に使用する場合) |
| | | ストルス (2017)。 ここなる。たたし、 はん (2017) になる。 たたし、 はん (2017) になる。 これには、 (2017) になる。 また、 石綿 (2017) になる。 また、 石綿 (2017) になる。 また、 石綿 | | 13 報目・振動の防止 | N-機目主 ・ N-放刺主建収放体と使用し、 A-視月末に方の る。 | | 5 保証書 | 次の工事につい | いて保証書を提出する。 | | [4. 0. 0, 0, 7, 0] | 以後側日モルグル (放り1)1/用に使用する場合) |
| | | ついては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、建築物解体工事共通仕様書 令和4年版(以下「解体工事 | | 14 工事実績情報の登録 | ※受注者は、次表に従い、工事実績情報を登録する。 | | | 工事区分 | | 4 | 浮き部改修工法 | ※ タイルを撤去しないで改修 |
| * | ・通仕様書」という。)に、 | ¢ る。 | | [1. 1. 4] | 登録内容について、あらかじめ監督員の承諾を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。 | | | 防水工事 | ・ アスファルト防水 10年 | | [4. 1. 4] | ・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付 ・) |
| (1) | 官公署手続き | | | | ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。 | | | | ・ 改賀アスファルト防水 10年 | | [4. 4. 4~6] [4. 4. 9~11、15] | アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (・注入口付・) アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (・注入口付・) |
| (1) | | D必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督員の承諾後とする。) | | | 請負金額 エ 事 受 注 時 登録内容の変更時 エ 事 完 成 時 500万円以上 契約後10日以内 変更契約後10日以内 エ事完成後10日以内 | | | | ・ 含成高分子ルーフィング防水 10年 ・ 塗膜防水 10年 | | [| ○ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 |
| (2) | 地元企業及び地場製品の | | | | | | | その他工事 | | | | 注入口付アンカーピン本数 1085本 |
| (3) | 受圧者は、地元企業及 疑義に対する協議等 | び地場製品の積極的な活用に努める。 | | | 変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う (請負代金のみ変更の場合、登録不要) ※ 登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。 | | | | | | | ・ タイルを撤去して改修 (撤去後の補修は欠損部改修工法による) |
| (-) | | 内容に疑義が生じた場合又は現場の納まり、取り合い等の関係で、設計図書によることが困難若しくは | | | なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要) | (4) (5) | ① 外壁改修材料 | ※ 4. 2. 4 | によるほか、監督員の承諾する材料 | 5 | 目地改修工法 | ・目地ひび割れ部改修工法 |
| | 不都合が生じた場合は、 | 佐督員と協議する。 | | | | 1 | [4. 2. 4] [4. 3. 5] | ※ セメント混 | R和用軽量発泡骨材を用いた軽量モルタルを外部に使用しないこと。 | | [4. 1. 4] [4. 4. 16] | ・ 伸縮調整目地改修工法 位置及び寸法 ※ 図示 |
| 2 6 | 宇記仕様 | | | (15) 施工数量調査 [1.6.2] | 調査範囲 ※ 外壁 (庇、笠木共) 図示 調査方法 ※ テストハンマーによる打診及び目視 図示 | 솼 | [4. 4. 5] 、[4. 5. 2] | | | 6 | 外壁複合改修工法 | 平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の技術 |
| | 章、項目は番号に〇印の [・] | ついたものを適用する。 | | [1.0.2] | | 改 : | 2 保証書 | 次の工事につい | いて保証書を提出する。 | ľ | 77至被日以珍工丛 | 平成 7 年及建設省 日 |
| | 特記事項は ① 印のつい | とものを適用する。 | | | ての位置並びに数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。調査結果により、適切な工法を選定し報告する | 18 | | 工事区分 | | | | |
| | | ない場合は、※印のついたものを適用する。 | | | こと。また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督員に提出する。(必要に応じ | * | | | | 4 1 | 仕上塗材仕上げ | - 薄付け仕上塗材 |
| (3) | | 印のついた場合は共に適用する。 表示番号は、「改修標準仕様書」、()内表示番号は、「建築標準仕様書」、< >内表示番号は、 | | | 写真を添付する) | | | | | 5 | [4. 1. 5] [4. 5. 2, 6] | 種類 仕上げの形状 エ 法 |
| (-) | | の当該項目、当該図又は当該表を示す。 | | 16 情報共有システム | 本工事は、インターネットを利用して、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、効率 | 4 | 1 ひび割れ部改修工法 | ※樹脂注入工法 | * | 外 壁 | | ・外装薄塗材E ・砂壁状 ・吹付け ・こて ・防水形外装薄塗材E ・着色骨材砂壁状 ・ローラー |
| (4) | 材料および製造所等の記 | 戦順序は不同である。 | | | 化を図る情報共有システムの対象工事である。 | <u> </u> | [4.1.4] | | 工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (ml/m) | 修 | | |
| 章 | 項目 | 特 記 事 項 | 1 | | 本工事で利用する情報共有システムは、「広島県工事中情報共有システム」とし、当該サービス提供者 との契約は受注者が行い、利用料を支払うものとする。 | 外 | [4. 2. 4~7] | | 0. 2以上0. 3未満 ※ 40 ・ | 事 | | ・厚付け仕上塗材 |
| 1) (1 | 適用基準等 | ・公共住宅建設工事共通仕様書 (令和元年度版) | 1 | | では、 では、「福山市発注工事における情報共有システム利用実施要領(建築工事)及び「情報共 | 壁改修 | | ※A · 自動式 | 式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 200~200 ※ 40 · | 隹 | | 「伊切り在工堂村 種類 仕上げの形状 工法 上 塗 村 |
| - ` | | 建築工事標準詳細図 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(令和4年版) | | | 有システム利用手引(建築工事)」によるものとする。 | 196 | | · B · 手動式 | 0.5以上1.0米滴 ※ 70 * | 塗 | | ・外装厚塗材E ・吹放し 吹付け ・行う |
| 般 | | → 建設工事公衆災害防止対策要綱(建築工事編)建設経済局建設業課・住宅局建築指導課監修→ 建築工事安全施工技術指針→ 建設大臣官房官庁営繕部監督課長通達 | | | . 数计字化中刑 | * (| | · C · 機械式 | tェポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100~200 ※ 70 · | 佳 | | - 凸部処理 - 行わない |
| 共 | | ・・ 建業工事女宝施工技術指針 建設大臣官房官庁高精節監督課長週递・・ 建築基準法、消防法、その他関係法令 | | | - 発注者指定型 共通仮設費として情報共有システムの利用料を見込んでいる。 | シク | | ・D ・機械式 | tェポキシ樹脂注入工法 0.5以上1.0未満 150~250 ※ 130・ | データ 外 | | |
| 通 | | <u></u> | | | 受注者は、本システムを利用できない特別の事由がある場合は、工事着手までに当該事由を記載した | Ϊ | | コア抜耳 | 取り検査 ・ 行う ・ 行わない 補修方法 (ポリマーセメントモルタル充填) | 壁 | | ・複層仕上塗材 |
| 事 ② | 監理(主任)技術者 | 受注者は、監理技術者及び主任技術者を建設業法により定め、工事現場内において工事名、工期、 | | | 工事打合せ簿を監督員に提出し、その承諾を得ることで本システムを利用しないことができる。 | 扩 | | 注入材料 | | | | 種 類 仕上げの形状 工法 上塗材 |
| 項 | | 写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。 | | | 受注者希望型(契約時の請負金額が500万円以上のものに限る) | 放し | | | 建築補修用注入エポキン樹脂(JIS A6024)による(※ 低粘度形 ・ 中粘度形) 軟質形エポキシ樹脂の中粘度型又は低粘度型 | | | ・ 複層塗材 C E ・ 凸部処理 ・ 吹付け 耐候性 /※ 耐候形 3種 ・ 耐候形 2種 |
| 3 | 電気保安技術者 | ・ 適用する ・ 適用しない | | | 工事費には情報共有システムの利用料を見込んでいない。 | 臣 | | | ール材充填 工 法 | | | - 複層塗材S: ・ 凹凸模様 ・ ローラー 溶 揉 ※ 水系 ・ 溶剤系 ・ 弱溶剤系 ・ 複層塗材E ・ ゆず肌状 樹/脂 ※ アクリル系 ・ シリカ系 |
| | [1. 3. 3] | | | | 本システムの利用を希望する受注者は、工事着手までに工事打合せ簿により、監督員にその旨を | 外聯 | | カット部 | | | | ・複層塗材RE ・ポリウレタン系 ・フッ素系 |
| | ++++ | | | | 申し出て、本システムを利用するものとする。 | = | | | ⊋をう性エポキシ樹脂 √ーリング用材料 (※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ 表3.7.1による) | | | ・ 可とう性複層塗材CE ・ アクリルシリコン系 |
| 4 | 技能士 [1.7.2] | 工事別 適用種別 工事別 適用種別 | | | その場合の請負金額の変更については、情報共有システムの利用料を共通仮設費に見込むものとし、 本システムの利用を確認した後に変更契約を行うものとする。 | | | | /一リング州村村 (※「成力形文は2成力形がリリンジンボ ・ 扱さ. /. 「による) /一リング材のうえにポリマーセメントモルタル充填 ※ 行う ・ 行わない | | | ・防水形複層塗材CE 外観※つやあり・つやなし・防水形複層塗材E |
| | | | | | | | | ・シール工法 | | | | ・防水形複層塗材RE |
| | | | | ① 自社施工対象工種 | 本工事は、受注者と直接的な雇用関係にある技術者及び作業員等により、次の工種を施工しなけ | | | | は部シール材 | | | ・ 防水形複層塗材 R S |
| 6 | 施工管理 | 受注者は施工管理体制を確立し、品質、工程、安全等の施工管理を行う。 | | | ればならない。 | | | * / | パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 | | | |
| | [1. 3. 1] | ※ 施工体制台帳(建設業法等に従って作成し、写しを提出する。) | | | ・防水工(仮設工事等付帯工事は除く) | : | 2 欠損部改修工法 | ※ 充填工法 | | | | ・可とう形改修用仕上塗材 |
| | [1. 1. 5] | ※ 施工体系図(建設業法に基づき、当該現場の見やすい場所に掲示する。) | | 18 週休2日適用工事 | ・ 本工事は、福山市上下水道局週休2日適用工事の実施について対象外とする。 | | [4. 1. 4] | 欠損部充 | | | | 種 類 仕上げの形状 工法 上塗材 (耐候性 耐候形3種) |
| 6 | 建築材料等 | 建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等のものとする。ただし、同等 | | | | | [4. 2. 4、8] | * * | ドリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル | | | ・可とう形改修塗材E ・ 年たん状 ローラー ・ 水系 ・ アクリル系 ※つやあり |
| | 22000 | とする場合は、監督員の承諾を受ける。 | | | ĺ | 4 | 1 ひび割れ部改修工法 | (下記以外は4 | 4-2コンクリート打放し仕上げ外壁による) | | | - 可とう形改修塗材RE / さざ波 ・溶剤系 ・ポリウレタン系 ・可とう形改修塗材CE / ・ゆず肌状 吹付け ・弱溶剤系 ・アクリルシリコン系 |
| | | また(社)公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって所要の品質・ | | | | 3 | [4. 1. 4] | | 撤去して改修 (撤去後の補修は充てん工法 [4.3.9]による) | | | ・フッ素系 |
| | | 性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出する。 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号。「グリーン購入法」とい | | | | 솼 | [4.3.5~8] | | E入工法 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ シール工法 :撤去しないで改修 | | | |
| | | う) により、環境負荷を低減できる材料を選定するように努める。 | | | | 改 | | | E入工法 · Uカットシール材充てん工法 · シール工法 | 2 | 所要量の確認 | 塗材所要量等の確認方法は、単位面積当たりの使用量によることを標準とする。 |
| | | 材料の選定に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 | 2 | 1 工事現場仮囲い | ・ナイロンロープ張り・木製仮囲い・ 鋼製仮囲い・ ガードフェンス | 工車 | | | | | [4. 5. 3] | また、仕上りの程度の確認は、表4.6.1による。 |
| | | 工事に使用する材料は、アスベストを含有しないものとする。 | 仮 | | SOLLY / SOUTH SOLLAND | ≆ : | 2 欠損部改修工法 | | 法(欠損部の面積が O. 25 ㎡/ 箇所程度以下の場合) | | 05 + 200 to 20 to 20 to | 200 DB 1 |
| 6 |) 特別な材料の工法 | 建築標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。 | 設 | 2 監督員事務所 [2.4.1] | - 設ける (m ² 程度) · 設けない - 備品等 () | ルタ | [4. 1. 4] [4. 3. 5、 9、 10] | ・ モルタル塗 | √材の種類 ※ ポリマーセメントモルタル ・ エポキン樹脂モルタル ■替え工法 | 3 | 既存塗膜等の除去 及び下地処理 | 塗膜は√離材 製造所 () 防火材料の指定箇所 ()) |
| | 1 | | I | | , | ル 塗 | 2 | 既製目 | 日地村 ・ 使用する (形状) | | [4. 5. 4] | The state of the s |
| (8 | 発生材の処理 | ・引渡しを要するもの (| 事 | ③ 受注者事務所等 | ・ 敷地内へ建てることができる・ 敷地内へ建てることができない | 华 | | 仕上げ | げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の接置 ※ 図示 | | | 既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 |
| | [1. 3. 12] | ・ 現場において再利用を図るもの ()※ 再資源化を図るもの () | | [2. 4. 1] | | 上げ. | 3 浮き部改修工法 | モルタルキ | 搬去しないで改修 | | / | ※ サンダー工法 ―― 処理範囲 既存仕上げ面全体 ※ 図示の範囲 ・高圧水洗工法 ―― 処理範囲 既存仕上げ面全体 ※ 図示の範囲 |
| | | ※ 件具派化を図るもの ・ アスファルトコンクリート ・ コンクリート ・ 木材 | | ④ 工事用水 | 構内既存の施設 ① 有償で利用できる(副メーター設置等) | ************************************** | [4.1.4] | | 一世ンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (・注入口付 ・) | | | · 高江小元工法 —— 处理和图 · 成存在工门 圖主体 ※ 國示の和图 · 3 O MP a以上 |
| | | ・ コンクリート及び鉄からなる建設資材 | | [] | ・ 無償で利用できる ・ 利用できない | | [4.3.5, 9~16] | アン | カーピン固定用樹脂材料 (アンカーピン部共通) | | / | • 5 OMPa以上 |
| | | ※ 上記以外のものはすべて構外に搬出し、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下 「建設リサイクル法」という)、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃 | | ⑤ 工事用電力 | 構内既存の施設 ・ 有償で利用できる ・ 無償で利用できる ○ 利用できない | | | | 建築補修用注入工ポキシ樹脂(JIS A6024)による硬質形で高粘度形 | | / | ・ 1 O O MPa以上 ・ () MPa以上 |
| | | 「建設リケイグル法」という)、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「廃業物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適正に処理する。 | | 上手用電力 | *** ** | | | | 、ロ付アンガーピン用樹脂材料(アンカーピン部共通) 主要複響用注入エポキシ樹脂(JIS A6024)による硬質形で中粘度形又は高粘度形 | | / | ・・() MPa以上 ・・塗膜はく離剤工法 |
| | | | | ⑥ 安全対策 | 敷地内の工作物は、必要に応じて養生を行い、被害を及ぼした場合は受注者の責任に於いて復旧する。 | | | ・アンカフ | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | / | ・ 水洗い工法 ―― 処理範囲 ※ 上記処理範囲以外の既存仕上げ面全体 |
| | | ※ 建設副産物情報交換システム (COBRIS) (財)日本建設情報総合センター 本工事け各級対象工事であるため、 母注をけ、 施工計画時、 工事空で時及び各級情報の変更が生じた。 | | | ○ 工事中は職員等施設利用者の安全に努め、仮囲い等の適切な措置を図る。 ○ 建物組 3 以口には、落下時は対策 取び中央対策 を確じること | | | / | 、材料 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | | / | ・・図示の範囲 |
| | | 本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた 場合は速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。 | | ⑦ 足場その他 | ○ 建物出入り口には、落下防止対策及び安全対策を講じること。※ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの | | | 1 / | i 築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024) による硬質形で低粘度形又は中粘度形 -ピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (・注入口付・・) | 1/ | 1 | 下地面の補修 外壁改修フロー及び数量による 下地調整材料 ※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 防水形仕上塗材主材 |
| | | また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入(搬出)する場合は、次表により計画書(実施書) | | [2. 2. 1] | 別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式 | | | 注入 | 、材料 ポリマーセメントスラリー (実績等の資料を監督員に提出する) | / | | |
| | | を提出する。なお、これにより難い場合は、監督員と協議する。 | | | 又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 | | | | 搬去して改修 | / 4 | マスチック塗材塗り | |
| | | 施工計画時工事完了時 | 3 | 1 塗膜防水 | // L L 400 型 按□ 54 /= 64 /= 6 | | | 充てんエモルタル | 17 | _ | [4. 6. 2] | 種別 · A種 · B種 |
| | | 搬 入 再生資源利用計画書 再生資源利用実施書 搬 出 再生資源利用促進計画書 再生資源利用促進実施書 | | [3. 1. 4] | 工法 種別 施工箇所 <u>仕上塗量</u> 高日射反射率 種類 使用量 防水の適用 備考 | | | | | 5 1 | とい | 軒どい ・ VPカラー50 φ ・ VPカラー75 φ ・ VPカラー100 φ |
| | | | 水 | [3. 2. 6] | ※製造所 ※製造所 ・適用 脱気装置 | | 4 外壁複合改修工法 | | 建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の技術 | 屋 | (13. 5. 2) | たてどい ・ VPカラー50 φ ・ VPカラー75 φ ・ <u>VPカラー100 φ</u> |
| | | ※ 本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。 | 改 | [3. 6. 2~3] | ・POX ※X-1 の指定 ・設ける・設けない | / | | 評価を取得した | に上版とする。 | 根 | | とい受け金物 ※ 亜鉛めっき ・ ステンレス (SUS304) 足 金 物 ※ 溶融亜鉛め <u>っき ・ ステンレス</u> (SUS304) |
| | | ※ 撤去するシーリング村は石綿含有とみなし、適切に処分する。 | 修 | | ・X-2 による による 改修用ドル ・設ける ・設けない | 4) | 1 タイル張替え工法用 | (下記以外は4 | 4-2コンクリート打放し仕上げ外壁、及び4-3モルタル塗り仕上げ外壁による) | 及 び | | |
| 9 | 工事及び完成写真 | 分類 規格 摄影枚数 提出部数 | I | | ・X-1 ※製造所 ※製造所 ・適用 脱気装置 | 4 | 材料 | 1 | 替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類 | <u>د</u> ا | l | |
| | | 着 手 前 サービス判程度 (カラー) 必要に応じた数 1 | 事 | | · L 4 X | | [4.4.5、7] | | - セメントモルタル | I. | | |
| | | 工事中 サービス判程度(カラー) 必要に応じた数 1 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | (による) による | 外壁 | | | 557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 557による一液反応硬化形ウレタン樹脂系 | 6 1 | | 合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 ※ 1種 · 2種 |
| | | 完成時 サービス判程度 (カラー) 各 室 4 面 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | | | | 修 | | 目地詰め ※ | 行う・行わない | 塗塗 | | 耐候性塗料塗り(DP)の上塗り塗料等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 |
| | | | | 2 その他の防水 | 種 別 施工箇所 | 事 | | タイルの形状、 | 、寸法等 | 装削の | | 塗料の種類 |
| | | 着手前・工事中写真 | | [3. 1. 4] [3. 2. 6] | | (g) | | 施工形物 | 再生材料 飯水率による区分 うわぐすり 役 物 色 耐凍害性 耐滑 備考 | 修 種 | | DP EP-G |
| | | 原版の提出 ※ する (※ 完成時のみ · 全て) | | [3. 5. 2~3] | | ル張 | | 箇所 // / / / / / / / / / / / / / / / / / | 0.5 J. Z. の適用 I 類 I 類 I 類 I 類 I 類 b p う 無 p う あ y な L 標準 特注 あ y な L リ 性 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | # | | 大部 - 表7.9.2 鉄鋼面 表2.8:1 ※B種 |
| | | (電子データ形式等は、監督員の指示による。) | | | A STANDARD AND STREET | 华 | | | | | | 亜鉛めつき価 表7.8.2 表7.9.4 |
| 6 | 完成時の提出図書 | 速やかに次の図書を提出する。 | | ③ シーリング [3.1.4] | シーリング改修工法の種類 [表3.1.2] ・シーリング充填工法 | 上げ | | 当該商品な! | は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督員の承諾を受ける | | | 米下等(注2) — ※B種 |
| | [1.9.1~3] | □ 竣工図 (※完成図 ・承諾図 ・施工図) | | [3. 7. 2~7] | シーリング再充填工法 | <u>が</u> 壁 | | こと。 | Survey of the control | | | (注2) : コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード、その他ボード面等 |
| | | ○ A 3 判を 2 つ折りにして製本1 部 | | | | | | | | | <u> </u> | [7. 9. 2] |
| | | | | | | | | | ───────────────────────────────────── | ^{2 杯} | 水場中央管理や | ンター外壁改修工事 |
| | | | | | | | | | 粉計 図面 | | - 小物子大官理化 | |
| - | | | | | | | | | 2005 - 10 - | | 5工事特記仕様書 | - No.1-1 |

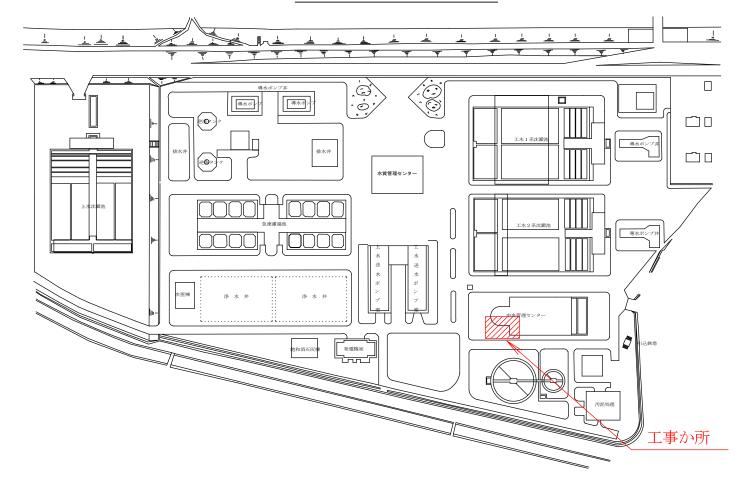
| 章 項目 | 特 記 事 項 | 章 | | 特 記 事 項 | 章 | 項目特認 | 事 項 | 章 | 項目制 | 記 事 項 | |
|-----------------------------|---|---|--|--|---|------|-----------|-------------------------|--|-----------|------|
| ⑦ ① 事前調査 | 目視及び設計図書等により、あらかじめ事前に次の事項について事前調査を行い、調査結果をとりま | | | ⑧養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、4 2)⑤により処理等を行う。 | | | | | | | |
| 石 4.1> | とめて監督員に提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置く。また、関係法令等に基づき、 官公署へ報告を行う。 | | | ⑨後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃をする。 | | | | | | | |
| 含有 | (1) 使用部位の確認 | | 5 石綿含有保温材等 | 1) 処理を行う石締含有保温材等の仕様及び部位 | | | | | | | |
| 建材 | (2) 種別、厚さ等の確認 (3) 使用数量の確認 | | の除去 <6.4.1~6.4.4> | ・下記による ※ 図面による | | | | | | | |
| 除去 | (4) 施工範囲と工事管理区分の確認 | | (0.4.11-0.4.4) | 石綿含有保温材等の仕様 使用部位 | | | | | | | |
| 及 び an | ・ 石綿含有分析調査 (※ 不要 ・ 必要 (内容は下記による)) ※ 分析方法 JIS A1481-1「建材製品中のアスペスト含有率測定方法」による定性分析 | | | | | | | | | | |
| 理 | ※ 分析の支流 13 1440 11 1240 25日 1250 25日 1250 25日 1250 25日 1250 25日 1250 25日 1250 25日 | | | · · · | | | | | | | |
| 0 T44011 / WATE | 〒6640 10 / 場か別ウェイ 1 、 2762 1 55-47 日 (-1784 上 7 | | | 0.) 96 4-67 | | | | | | | |
| 2 石綿材しん濃度測定 <6.1.3> | 石綿粉じん濃度測定を行い、記録し監督員に報告する。 ※ 測定方法は、公共建築改修工事標準仕様書 (建築工事編) 最新版による。 | | | 2) 養生等 ①石綿含有保温材等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を | | | | | | | |
| | 測定点の取り方 | | | 用いて隔離養生(負圧不要)を行う。 | | | | | | | |
| | (1) 処理作業前 - 処理作業室内(点) | | | ②作業場の隔離 (・ 行う ※ 行わない) 石綿含有保温材等の除去にあたり、掻き落し・破砕・切断による方法の場合は、作業場の隔離 | | | | | | | |
| | - 施工区画周辺又は敷地境界(2点) | | | を行うこと。 | | | | | | | |
| | (2) 処理作業中 ・ 処理作業室内 (点) | | | 3) 作業場の隔離を行う場合は、4 2) を適用する。 除去工法 | | | | | | | |
| | ※ セキュリティーゾーン入口(点)・・・空気の流れを確認 | | | ※ 粉じん飛散抑制剤により湿潤化した後に手ばらし・ 石綿含有吹き付け材の除去による | | | | | | | |
| | ※ 負圧・除じん装置の排出口(点)・・除じん装置の性能確認・施工区画周辺又は敷地境界(2点) | | | 除去物の処理 (※ 密封処理 (二重袋梱包) ・ セメント固化) 4)除去した石綿等の保管、連搬、処分等 | | | | | | | |
| | (3) 処理作業後 (離隔シート撤去前) | | | 4 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 | | | | | | | |
| | ※ 処理作業室内 (点) ・ 施工区画周辺又は敷地境界 (2点) | | | 5)確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 | | | | | | | |
| | | | | ②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 | | | | | | | |
| ③ 除去工事共通事項 <6.2.1~6.2.9> | 1)専門工事業者 石締含有吹付け材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有するこ | | | ③養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分に清掃する。また、石綿の付着が考えられる 場合には、必要に応じて粉じん飛散抑制剤又は粉じん飛散処理剤を散布する。 | | | | | | | |
| | とを証明する資料を監督員に提出すること。 | | | | | | | | | | |
| | 2) 作業主任者及び特別管理産業廃棄物管理責任者 ①石綿作業主任者技術講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を修了した | | 石綿含有成形板等の除去 | 1) 処理を行う石綿含有成形板等の仕様及び部位 下記による ※ 図面による | | | | | | | |
| | 者のうちから、石綿作業主任者を選任し、管理させること。 | | <6.5.1~6.5.4> | 石綿含有成形板等の仕様 使用部位 | | | | | | | |
| | ②排出事業者は、石綿含有吹付け材、石綿含有保温材等の除去工事では、特別管理産業廃棄物管理 責任者の資格を有する者を選任し管理させること。 | | | ・シーリング ・外壁 | | | | | | | |
| | 3)除去作業者 | | | | | | | | | | |
| | 石綿含有建材の除去に従事する作業者(以下「除去作業者」という。)は、石綿障害予防規則 (平成17年厚生労働省令第21号。以下「石綿則」という。)に基づく特別の教育を受けた者と | | | | | | | | | | |
| | する。また、除去作業者は、一般健康診断、石綿健康診断、じん肺健康診断を受診した者とし、 | | | 2)養生等 | | | | | | | |
| | 肺機能に異常がない者とする。 4) 施工計画書 | | | 石綿含有成形板等の除去に伴い、石綿の作業場から外部への飛散防止のため、養生シート等を用い て作業場所の周辺の養生を行う。 | | | | | | | |
| | 施工に先立ち、処理工事に伴う石締粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査 等の結果に基づき作成し、監督員の承諾を受けること。 | | | 3) 除去工法 ①原則、手ばらしで行う。やむを得ず切断、破壊等しなければならない場合は、常時湿潤化した状 | | | | | | | |
| | 5) 表示及び掲示 | | | 態で作業を行う。ただし、石綿を含有するけい酸カルシウム板第一種は、養生シート等で作業場 | | | | | | | |
| | ①関係者以外立入禁止、喫煙・飲食の禁止、石綿除去作業中等の表示を行う。 ②石綿の有害性、取扱い上の注意事項、使用すべき保護具の掲示を行う。 | | | 所の隔離養生(負圧不要)を行う。 ②除去した石締含有成形板等の集積及び積込みに当たっては、高所より落下しないことの他、粉じ | | | | | | | |
| | ③「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への届出内容、粉じん飛散抑制 | | | んの飛散防止に努める。 | | | | | | | |
| | 措置、ばく露防止措置等)」を周辺住民の見やすい場所に掲示する。 6)保護具・保護衣 | | | ③破砕された石綿含有成形板等は、湿潤化のうえ、丈夫なプラスチック袋に入れる等飛散防止の措 置を講ずる。 | | | | | | | |
| | ①作業者は、作業内容に応じた呼吸用保護具、保護めがねを使用するとともに粉じんが付着しに | | | 4)除去した石綿等の保管、運搬、処分等 | | | | | | | |
| | くく、服内部に侵入しにくい保護衣又は作業衣を着用する。 ②監督員の現場作業の立入確認のため、保護具、保護衣を一式現場に備える。 | | | ①処分は原形のままとし、処分先は監督員の指示による。 ・ 石総含有石こうボード | | | | | | | |
| | 7) 官公署その他への手続き | | | ※ 埋立処分(管理型最終処分場) | | | | | | | |
| | ①労働安全衛生法の吹付け石綿除去作業の工事計画届(労働基準監督署) ②「石綿則」第5条第1項の規定による作業届(労働基準監督署) | | | - 石締含有せっこうボードを除く石締含有成形板等 - 埋立処分(安定型最終処分場) 中間処理 (溶融施設) | | | | | | | |
| | ③大気汚染防止法の特定粉じん排出等作業実施届出(都道府県知事) | | | なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は. | | | | | | | |
| | ④その他、各自治体の条例又は要綱等により義務付けられている届出 (特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書等) | | | 監督員と協議すること。 ②除去した石綿含有成形板等を現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の廃棄物とを分 | | | | | | | |
| | 8) 適用基準等 | | | 別して保管するものとし、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、保管場所には、石綿等 | | | | | | | |
| | ※ 「建設・解体工事に伴うアスペスト廃棄物処理に関する技術指針・同解説」 | | | の保管場所であることの表示を行う。 ③石綿含有成形板等の運搬に当たっては、運搬車輌の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努め | | | | | | | |
| 4 石綿含有吹付け材 | 1) 処理を行う石綿含有吹付け材の仕様及び部位 | | | る。 | | | | | | | |
| の除去 <6.3.1~6.3.4> | ※ 図面による ・ 下記による | | | 5)確認及び後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 | | | | | | | |
| | 石総含有吹付け材の仕様 使用部位 | | | ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分清掃する。 | | | | | | | |
| | <u> </u> | | 7 石綿含有仕上塗材 | 1) 処理を行う石綿含有仕上塗材(下地調整塗材含む)の仕様及び部位 | | | | | | | |
| | | | (下地調整塗材 | ・ 下記による ※ 図面による | | | | | | | |
| | 2) 作業場の隔離、養生等 | | 含む)の除去 | 石綿含有仕上塗の仕様 使用部位 | | | | | | | |
| | ①除去に伴い石綿の作業場から外部への飛散防止及び処理を行わない他の部位への汚染を防止するため、プラスチックシート等を用いて負圧隔離養生を行う。 | | | | | | | | | | |
| | ②隔離した作業場内は、HEPAフィルターを備えた負圧除じん装置により、常時負圧を保つ。 | | | | | | | | | | |
| | ③隔離した作業場内への出入りによる石締粉じんの二次汚染を防止するため、前室、洗浄室及び 更衣室の3室で構成するセキュリティーゾーンを設置する。 | | | 2) 養生等 | | | | | | | |
| | ④洗浄室にはエアシャワー設備を設ける。 | | | 電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、石綿の作業場から外部への飛散防止のた | | | | | | | |
| | (5)除去物の処理 ※ 密封処理 (二重袋梱包) セメント間化 | | | め、養生シート等を用いて隔離養生(負圧不要)を行う。 3)除去工法 (施工場所: ※ 図示) | | | | | | | |
| | 3) 除去工法 | | | ①石綿含有仕上塗材の除去は、高圧水洗工法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行 | | | | | | | |
| | ※ 図面による ・ 共通仕様書による 施工場所 () | | | う。 ②電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤 | | | | | | | |
| | 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 | | | 化した状態で作業を行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を | | | | | | | |
| | ①除去した石綿含有吹き付け材等を搬出するまでの間、現場に保管する場合は、一定の保管場所を 定め、シートで覆う等飛散防止措置を講ずる。また、石綿等の保管場所であることの表示を行う。 | | | 使用するなど粉じんの発散を防止する。 ③除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重でこん包する。 | | | | | | | |
| | 当該工事により発生する石綿を含む廃棄物は、下記の処分先を見込んでいる。 | | | 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等 | | | | | | | |
| | 処分場所 () 運搬距離 () 受入条件 (※平日受入 ·) | | | 6 4) 除去した石綿等の保管、運搬、処分等による。 処分先については、監督員の指示による。 | | | | | | | |
| | ※ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) | | | ・埋立処分 (・安定型最終処分場・管理型最終処分場) | | | | | | | |
| | なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、 監督員と協議すること。 | | | ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)なお、工事発注後に明らかになったやむをえない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監 | | | | | | | |
| | ②石綿を廃棄物として排出した時は、その都度、排出量と処理先を監督員に報告するととともに、 産業廃棄物管理票(マニュフェスト)の写しを添付した廃棄物処理報告書を提出する。 | | | 督員と協議すること。 5)確認及び後片付け | | | | | | | |
| | 産業廃業物管理景(マニュフェスト)の与しを添付した廃業物処理報告書を提出する。 5) 確認及び後片付け | | | 5) 確認及ひ後片付け ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。 | | | | | | | |
| | ①関係法令等に基づき、石綿等に関する知識を有する者等により、除去が完了したことを確認する。②確認の後に、除去面に粉じん飛散防止処理剤等を散布する。 | • | | ②養生シート等の撤去にあたっては、シート等を十分清掃する。 | | | | | | | |
| | ③養生用のプラスチックシートの撤去に先立ち、高性能真空掃除機で養生面、床等の清掃を行う。 | | | | | | | | | | |
| | ④養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全面に粉じん 飛散抑制剤を散布する。 | | | | | | | | | | |
| | ⑤壁面等の養生用のプラスチックシートの撤去は、集じん・排気装置で十分に吸引・ろ過し. 原則 | | | | | | | | | | |
| | として、隔離空間内部の空気中の総繊維数濃度を測定して、石綿等の粉じんが処理されたことを 確認した後に行う。 なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラ | | | | | | | | | | |
| | スチック袋に入れる。 | | | | | | | | | | |
| | ⑥養生を行っていない足場、仮設材を清掃した後に解体搬出する。 ⑦床養生用のプラスチックシートは、粉じん付着面を内側にして折りたたみ、プラスチック袋に入 | | | | | | | | | | |
| | の味養生用のフラステックシートは、初しん付着曲を内側にして折りたため、フラステック表に入れる。 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 福山市上下水道局 | _{●名称} — 中津原 | 浄水場中央管理センター外壁改修工事 | | 図面No |
| | | | | | | | | 面名称 | · 放了市社司从************************************ | 縮尺 | 3/0 |
| | | | | | | | 2025年 10月 | /1 笙 収 | 修工事特記仕様書 No.1-2 | Non Scale | ' " |



位置図



中津原浄水場 平面図



A1版 (100%) A3版 (50%)

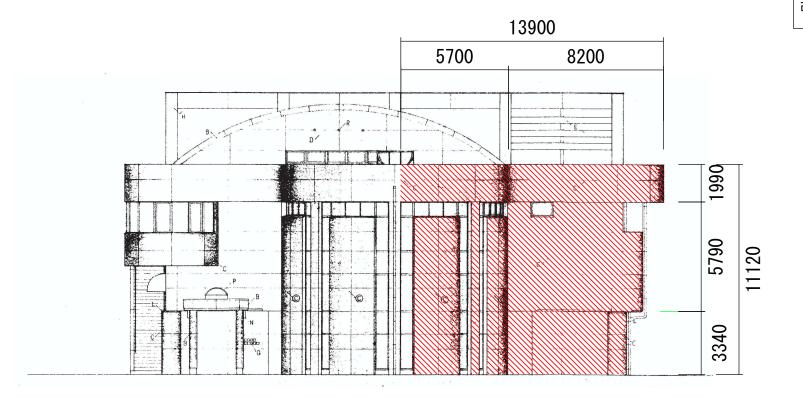
福山市上下水道局 中津原浄水場中央管理センター外壁改修工事 2025年 10月 位置図

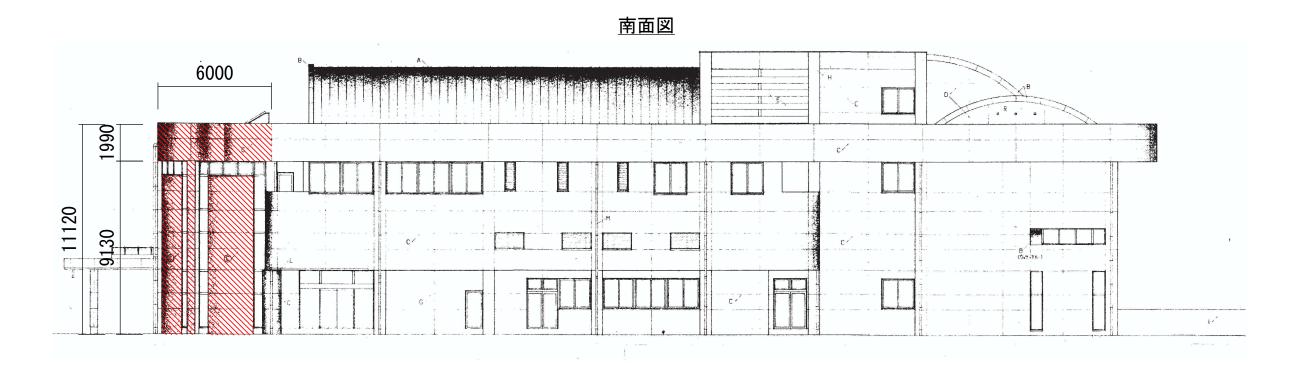
^{縮尺} Non Scale 西面図

:外壁改修対象範囲

既存:二丁タイル密着張り

改修:注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法



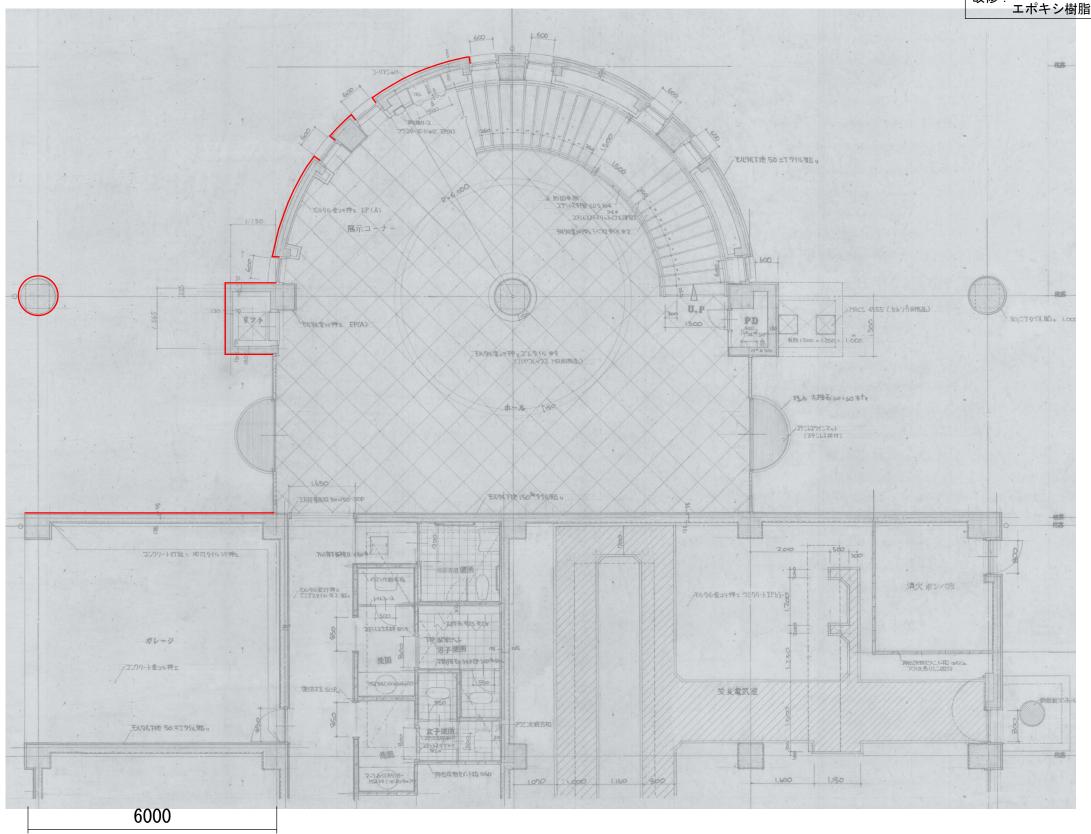


——:外壁改修対象範囲

| 既存:二丁タイル密着張り

改修:注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法

一階平面図



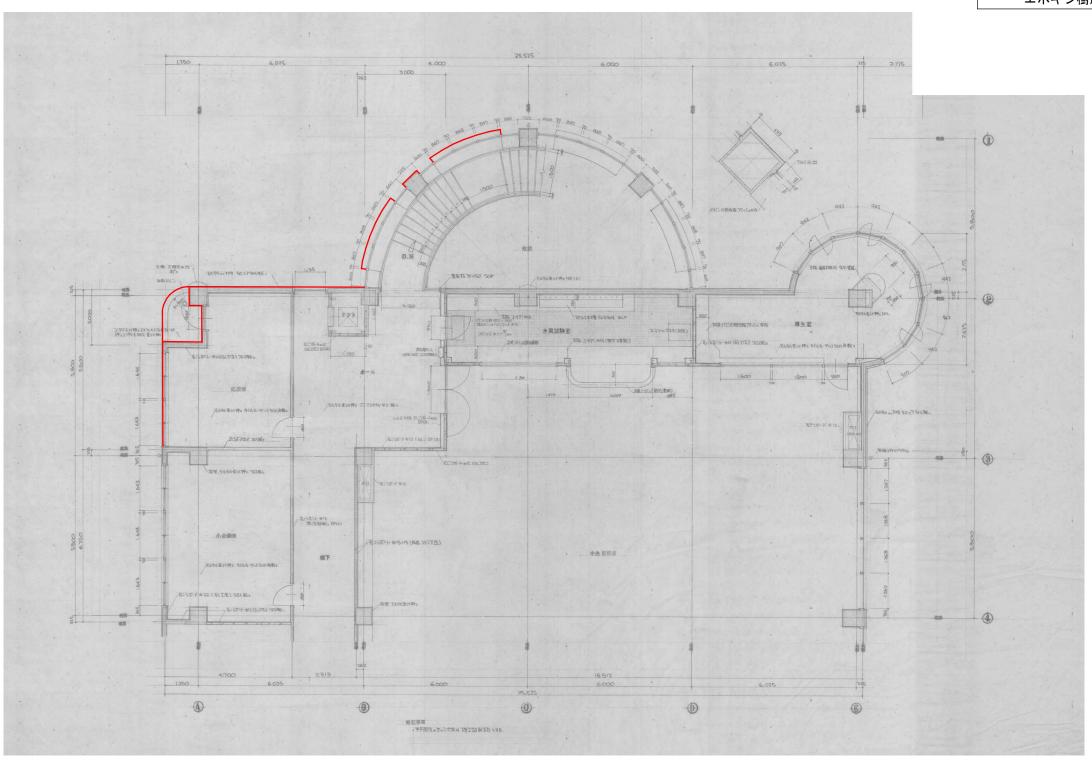
7/9

二階平面図

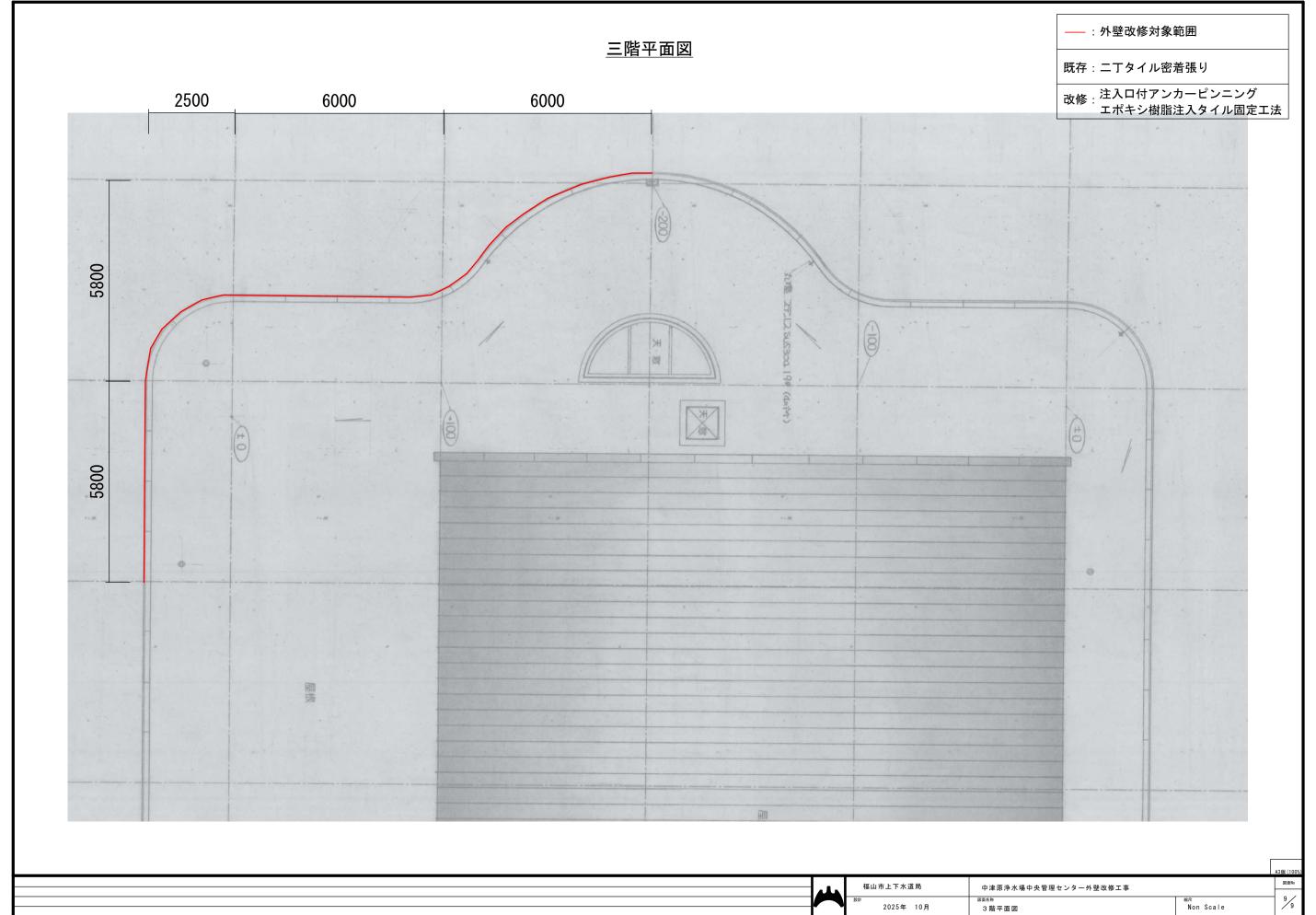
——:外壁改修対象範囲

既存:二丁タイル密着張り

改修:注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法



| ļ | |
|---|----|
| | 29 |



2025年 10月

参考数量書

§工事名称 中津原浄水場中央管理センター外壁改修工事

§ 工事場所 福山市御幸町地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく 参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。
 - ※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

| 工事名称 | 中津原浄水場中央管理センター外壁改修工事 |
|------|----------------------|
| 工事場所 | 福山市御幸町地内 |
| | |
| | |
| | |
| | 外壁改修工 一式 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

工事費內訳

| 名 | 称 | 数 | 量 | 単位 | 金 | 額 | 備 | 考 |
|-------------------|---|---|---|-----|---|---|-----------|---|
| 直接工事費 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 建築工事 | | | | | | | | |
| | | | 1 | 式 | | | | |
| 計 | | | | 10 | | | | |
| | | | | | | | | |
| 共通費 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 共通仮設費 | | | | | | | | |
| N. L. K. K. | | | 1 | | | | | |
| 現場管理費 | | | | 式 | | | | |
| 元物目程 負 | | | 1 | | | | | |
| 60.755 TEL #4.555 | | | | 式 | | | | |
| 一般管理費等 | | | 1 | | | | | |
| | | | | 式 | | | | |
| 計 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 工事価格 | | | | | | | | |
| | | | 1 | 式 | | | | |
| 消費税等相当額 | | | | 14 | | | | |
| | | | 1 | -4- | | | 消費税率 10 % | |
| 工事費 | | | | 式 | | | | |
| | | | 1 | | | | | |
| | | | | 式 | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

工事種別內訳 2

| 名 | 称 | 数 | 量 | 単位 | 金 | 額 | 備 | 考 |
|--|---|---|----------|----|---|---|---|---|
| 防水改修工 | | | 1 | | | | | |
| 3 1 | | | <u>.</u> | 式 | | | | |
| ### ################################## | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| 名 | 称 | 数 | 量 | 単位 | 金 | 額 | 備 | 考 |
|-------|-------|----|---|-----|------|----|-----|---|
| 小壁改修工 | .41. | 32 | | 712 | 11/2 | ня | env | |
| | | | 1 | 式 | | | | |
| 計 | | | | IV. | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| 外壁改修工 | | | | 1 | | | | |
|--------------|---|---|---|----|---|---|---|---|
| 名 | 称 | 数 | 量 | 単位 | 金 | 額 | 備 | 考 |
| 上壁改修工 | | | 1 | | | | | |
| | | | 1 | 式 | | | | |
| 計 | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| 外壁改修工 | | | | | |
|--------------|-------|----|----|----|----|
| 科 目 名 称 | 中科目名称 | 数量 | 単位 | 金額 | 備考 |
| 外壁改修工 | 防水改修工 | 1 | | | |
| | | 1 | 式 | | |
| 外壁改修工 | 直接仮設工 | | | | |
| | | 1 | 式 | | |
| 外壁改修工 | 処分費 | | | | |
| | | 1 | 式 | | |
| 라 | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| 外壁改修工 | | | 外壁改修 | 工 | | | | 防水改修 | エ | | |
|----------------------|------------------------------|----------|------|-------|----|---|---|------|---|---|---|
| 名 称 | 摘 | 要 | 数 | 量 | 単位 | 単 | 価 | 金 | 額 | 備 | 考 |
| 高圧水洗浄 | 150~200kg/cm2 | | | 217 | | | | | | | |
| | | | | 217 | m² | | | | | | |
| 外壁面の事前調査 | | | | 217 | | | | | | | |
| | | | | 211 | m² | | | | | | |
| 石綿含有シーリング撤 去 | 集積共 | | | 353 | | | | | | | |
| | | | | 300 | m | | | | | | |
| 注入口付アンカー ピンニングエポキ | ϕ 4. 7mm \times L50mm | | | | | | | | | | |
| シ樹脂注入タイル | | | | | | | | | | | |
| 固定工法 | | | 1 | , 085 | | | | | | | |
| | | | 1 | , 000 | 本 | | | | | | |
| シーリンク゛ | 一般部 変成シリコーン系 15×10 | ₹ (MS-2) | | 353 | | | | | | | |
| | 15 ^ 10 | | | 300 | m | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

| 外壁改修工 | WH EI 7017 1 EIV | | 外壁改修 | 工 | | | | 直接仮設 | I. | | |
|----------------|-------------------|--------|------|-----|------|---|---|------|----|---|---|
| 名 称 | 摘 | 要 | 数 | 量 | 単位 | 単 | 価 | 金 | 額 | 備 | 考 |
| | 掛け払い手間 基本 | 料 供用賃料 | | 166 | tn 2 | | | | | | |
| 10m未満 高所作業車 | 修理費 安全手摺 H=16m | 連搬費含む | | 2 | 架㎡ | | | | | | |
| ≅ † | | | | | 台・目 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

| 外壁改修工 | | | | 外壁改修工 | | | | | 処分費 | | | |
|-------|---|-------------------------------|--|-------|------|----|---|---|-----|---|---|---|
| 名 | 称 | 摘 | 要 | 1 | 量 | 単位 | 単 | 価 | 金 | 額 | 備 | 考 |
| 撤去材運搬 | | ダンプ トラック2t積人力積込DID区間有り 60.0km | 級 | | 0. 1 | m3 | | | | | | |
| 処分費 | | 石綿含有産業廃棄物 | in the second se | | 0. 1 | m3 | | | | | | |
| 計 | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |